

はじめにお読みください

hp t310 ゼロクライアント用クイックマニュアル Ver.1.0
日本ヒューレット・パッカード株式会社 クライアント技術部

目次

1. ゼロクライアントとは
2. hp t310 ゼロクライアントの電源ボタンの位置
3. 工場出荷時の状態について
4. 基本的な設定
5. 様々な設定方法
6. Tips

1.ゼロクライアントとは

ゼロクライアントは、VMware 環境において最高のパフォーマンスを発揮する TERADICI PCoIP に対応するシンクライアントです。わずか数秒で起動し、様々なマルチメディア用途にも対応します。また、ローカルデータや OS を持つことなく動作し、IT スタッフは最小限のメンテナンスで運用することが可能です。

2.hp t310 ゼロクライアントの電源ボタンの位置



3.工場出荷時の状態について

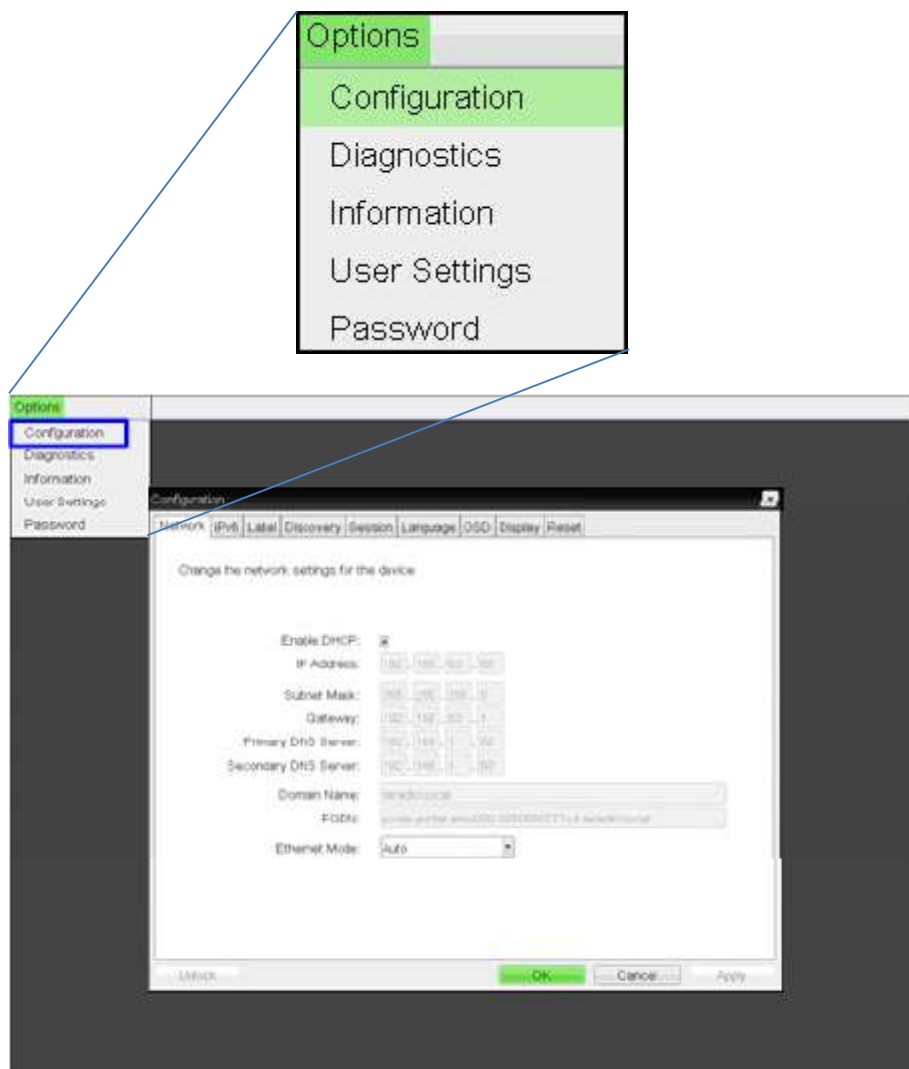
工場出荷時の状態で電源を ON にすると、ゼロクライアントは英語表示で起動し、自動的に SLP ホストの検出とホストへの接続を試みます。

既に対応する環境が用意されている場合は、このまま利用することができます。

それ以外の場合は、次の基本的な設定についてご覧ください。

4.基本的な設定

画面の左上にある【Options】ボタンから各種の設定を行います。【Configurariion】から、ネットワークや言語、接続先等の設定が可能です。



設定の際には、左下の【Unlock】ボタンを押し、lockを解除してから設定します。Unlock時にパスワードを求められますが、初期状態ではパスワードの入力はせずに【OK】ボタンを押してください。(パスワードは登録されていません)

5.様々な設定方法

t310 は、t310 上で設定する方法の他に、ネットワーク経由で設定することも可能です。

設定方法は、以下の 3 種類があります。

- 1.On Screen Display(OSD)
- 2.Administrative Web Interface(AWI)
- 3.PCoIP Management Console(MC)



1.On Screen Display(OSD)

t310 上で設定する方法です。利用にあたって特別な準備は不要ですが、t310 の一部の機能 (USB デバイス、ネットワークの消費帯域の制御等) は、この方法では設定できません。通常、運用開始後に意図しない設定に変更されないようにパスワードで保護します。

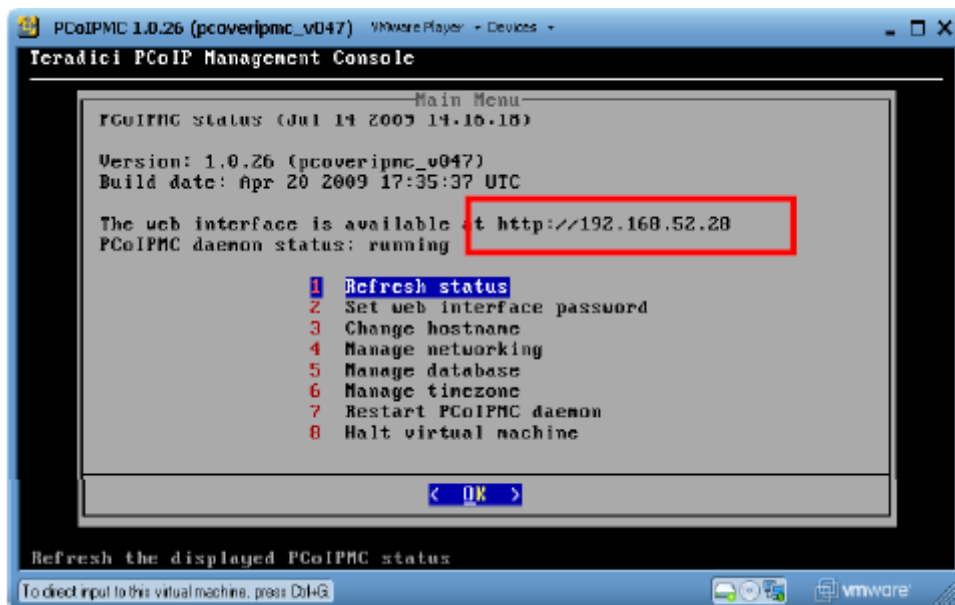
2.Administrative Web Interface(AWI)

ネットワーク経由で t310 を設定する方法です。ブラウザを用意して t310 の IP アドレスにアクセスすることで利用できます。アクセス時は、接続先の t310 のパスワードが必要です。AWI は OSD のスーパーセットとなり、OSD にはない設定も可能です。OSD と AWI による設定項目の違いについては、PCoIP Administrator's Guide をご覧ください。

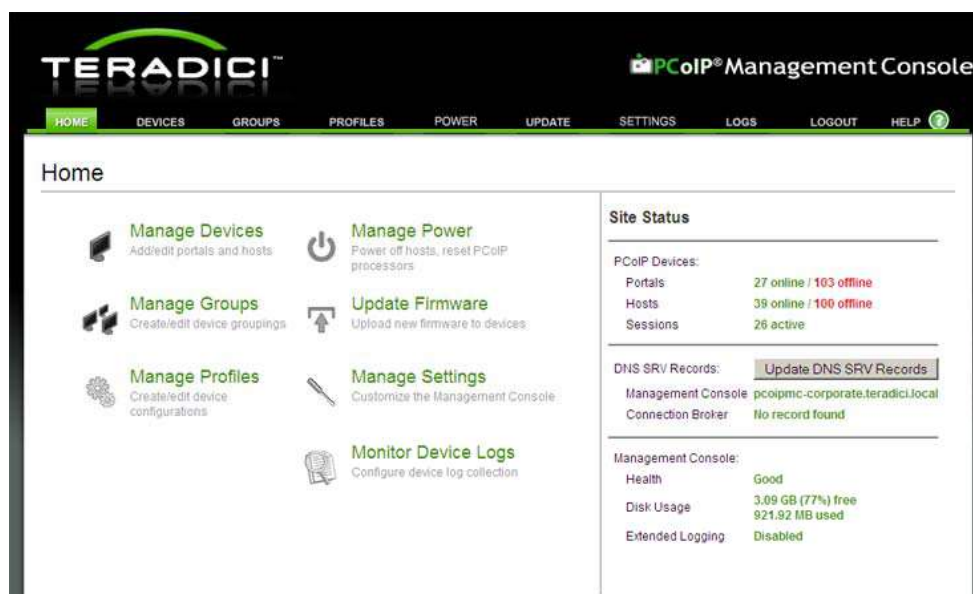
3.PCoIP Management Console(MC)

複数台のゼロクライアント(t310 等)を一括で設定管理することが可能な方法です。

MC は、仮想マシンとして提供されますので、VMware 環境に統合する他、VMware Player 等で動作させることも可能です。起動後、シンプルな画面が表示されますが、メインメニューに表示されている IP アドレスにブラウザでアクセスすることで、グラフィカルな画面での操作が可能になります。



MCをVMware Player上で実行した画面。赤枠で囲んだ位置にブラウザでのアクセス先が記載されています。



MCにブラウザでアクセスした画面。

6.Tips

hp t310 のマニュアルや新しいソフトウェアは、随時更新されます。最新のものは、以下のリンク先となる hp.com にてご提供しております。

<http://www8.hp.com/jp/ja/support-drivers.html>

ご利用の際には最新の情報をご確認いただくことで、より良く製品をご活用いただけます。是非、ご覧下さい。

本書の取り扱いについて

本書は、日本ヒューレット・パッカ―ド株式会社が販売する製品を検討されているお客様が実際のご利用方法に合わせた設定を行う際に役立つ手順の一例を示すものです。いかなる場合においても本書の通りになる事を保証するものではありません。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証については、該当製品およびサービス保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

この文書の著作権は日本ヒューレット・パッカ―ド株式会社に帰属します。日本ヒューレット・パッカ―ドの許可なく一部または全体の複製・転載・編集等を行うことや、許可されていない第三者への開示等の行為全てを禁止します。

本文中使用される企業名、製品名、商標などはそれを保持する企業・団体に帰属します。

© Copyright 2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.